

物事を伝えるということ

筆圧が強くて字が濃い。顔が濃い。濃い字シリーズ。

「この人に、どうしてもお伝えしたい。」ということがある。そのような場合、みなさんはどのようにしますか？

こんなことを言ったら嫌わけてしまう、ここまで言ったらもういいと思わけてしまう、他人がこんなことを言うのは迷惑ではなからうか。どうしても、相手の反応を気にしてしまいます。

しかし、相手が家族だったらいいからでしょうか。本当に伝えたいことがあるなら、と人に伝えるのではないのでしょうか。例えば、子供が大学受験に失敗してふさぎこんでいる。ふさぎこんでいるだけでなく、どうも自暴自棄になっている。そんな子供に対し、母親が、子供にしがみついて、子供の体をゆすんだから、とくくせ、人生の尊さを読く。たぶん、こうなるのではないのでしょうか。

何か物事を相手に伝えたい時、相手の反応を気にしてしまうのは、ある意味、自分のエゴでしょう。自分が傷つきたくないので、傷つけない理由も求めるのではないのでしょうか。

このことは、仕事の上でも同様ではないのでしょうか。家族の例のように、物事を伝える時は、本当に相手のためを思って伝えたいでしょう。または、本当に会社のためを思って伝えたいでしょう。

最近、節税に関するアドバイスを求められた際、私は節税のアドバイスをしませんでした。節税上りも何十倍も重要なことがあると思ったからでしょう。私は、経営者のため、会社のためを思って、今後も仕事をしたいと思いきや、

江幡 淳